

令和7年度 実施事業

公の施設評価シート

1 施設及び指定管理者について

施設名等	施設名		所管課名	
	里山センター		農林振興課	
施設所在地	茨木市大字泉原20番地2			
指定管理者	里山サポートネット・茨木		指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
設置目的 及び 選定理由	茨木市里山センターの活動拡大と、市域の里山保全活動の拡大を推進し、もって市民の里山や森林に対する理解と認識を深め、市民参加型の里山保全の推進を図る事を提案している事から、身近な自然環境を活かした地域農林業の振興に寄与する事が期待される為。			
施設概要	敷地面積	13877 ㎡	延床面積	1471 ㎡
	竣工年月	-	改修年月	平成25年3月
	主な実施事業	施設運営事業、各種講座・教室開催事業、センター自然観察林整備事業		
	主な自主事業	木材加工販売事業、市内小中学校の環境教育活動支援事業、アドプトフォレスト制度による企業との協働森づくり事業		
	部屋・設備	研修室、会議室、木工室、木工機械室、多目的室、木工工作室、資機材保管室、倉庫、事務室・打合せ室・休養室、更衣室、木材保管室、電動木工機械一式、芝生広場、バーベキューコーナー、パソコン、電話、事務机・椅子ロッカー等		
	目的外使用 備考	- -		
運営状況	利用時間	午前9時から午後5時		
	定休日	火曜日（祝日の場合は翌日休館）、12/29から1/3まで		
	年間利用日数	307日		
	備考			
料金等	使用料／利用料金の有無		使用料／利用料金制	指定管理料の支払い
	有料		利用料金制	有
第6次 総合計画 関連取組	章	5	産業・都市	
	施策	2	産業・観光・労働	
	取組	1	農林業の振興	

2 利用状況について

	指標	稼働率の算出	単位	前指定管理者	現指定管理者	現指定管理者	現指定管理者		現指定管理者
				R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		R8年度
				実績	実績	実績	実績	目標	目標
年間 利用 数	施設利用人数 (全体利用者数)	-	人	8,931	11,292	11,652	10,735	12,000	
			稼働率	-	-	-	-	-	
	木工室の利用	-	人	1,282	1,038	1,405	1,258	1,300	0
			稼働率	-	-	-	-	-	
	バーベキューコーナー の利用	-	人	1,914	2,806	2,466	2,144	3,000	0
			稼働率	-	-	-	-	-	
	イベント参加人数 (里山まつり、オートキャ ンプ参加者を含む)	-	人	956	2,775	3,365	2,698	3,000	0
			稼働率	-	-	-	-	-	
	会議室の利用(回)	年間回数/年間開設日	回	59	56	56	59	60	0
			稼働率	19.3%	18.1%	18.2%	19.2%	-	
	研修室の利用(回)	年間回数/年間開設日	回	25	18	28	21	30	0
			稼働率	8.2%	5.9%	9.1%	6.8%	-	

3.収支状況について

	内訳		前指定管理者	現指定管理者	現指定管理者	現指定管理者			現指定管理者
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			R8年度
			決算額	決算額	決算額	予算額	決算額	執行率	予算額
指定管理者	支出	総支出額	13,890	14,272	15,411	16,500	16,557	100.3%	8,195
		人件費	6,808	7,019	7,613	8,028	7,805	97.2%	3,795
		消耗品・修繕料	2,183	2,035	1,976	1,589	2,010	126.5%	780
		会議費・出張交通費	24	24	20	47	19	40.4%	29
		報償金	1,360	1,498	1,633	1,770	1,744	98.5%	1,472
		光熱水費・燃料費	868	872	942	1,096	976	89.1%	780
		通信運搬費	174	300	338	352	343	97.4%	352
		雑費、手数料	187	194	212	200	236	118.0%	235
		保険料	238	253	239	280	290	103.6%	168
		委託料	-	0	165	165	165	100.0%	223
		里山まつり	80	1,480	1,467	1,705	1,705	100.0%	0
		イベント実施	655	491	521	550	549	99.8%	0
		戻入金	1,300	0	0	0	0		0
		租税公課	-	81	279	708	709	100.1%	355
		繰出金	-	19	0	0	0		0
		その他	13	6	6	10	6	60.0%	6
	収入	総収入額	13,893	14,272	15,412	16,500	16,563	100.4%	8,195
		指定管理料	13,684	14,000	15,154	16,292	16,292	100.0%	8,160
		利用料収入	178	204	256	203	264	130.0%	30
		その他	24	65	2	5	7	140.0%	5
		繰入金	7	3	0	0	0		0
収入—支出		3	0	1	0	6		0	
自主事業	総支出額	4,501	5,954	5,377	6,980	4,899	70.2%	6,500	
	総収入額	4,711	7,477	5,485	6,980	6,811	97.6%	6,500	
	収入—支出	210	1,523	108	0	1,912		0	
【全体】収入—支出		213	1,523	109	0	1,918		0	

市	内訳		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			R8年度
			決算額	決算額	決算額	予算額	決算額	執行率	予算額
	支出	総支出額	13,684	14,000	15,154	16,292	16,292	100.0%	8,160
		指定管理料	13,684	14,000	15,154	16,292	16,292	100.0%	8,160
	収入	総収入額	1,300	0	0	0	0		0
		戻入金	1,300	0	0	0	0		0

4.利用者ニーズの把握と対応について

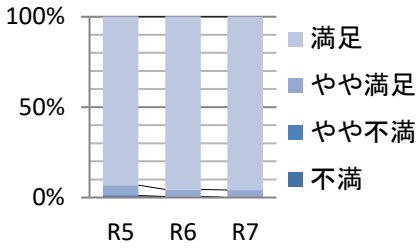
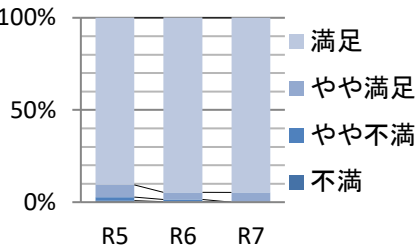
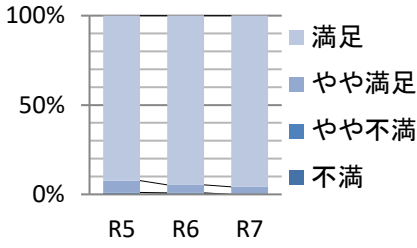
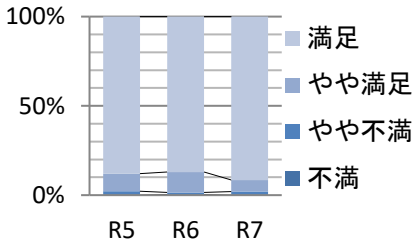
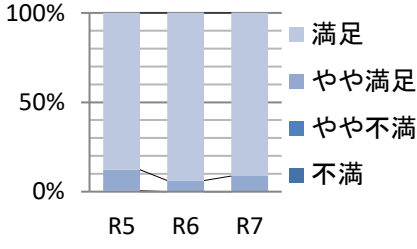
①利用者意見の把握状況

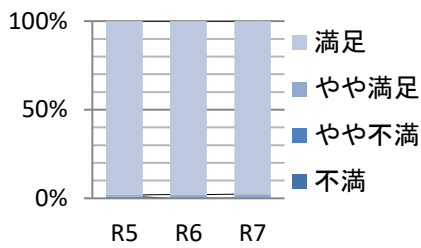
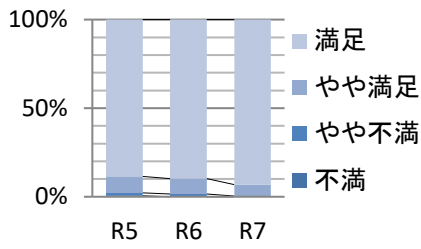
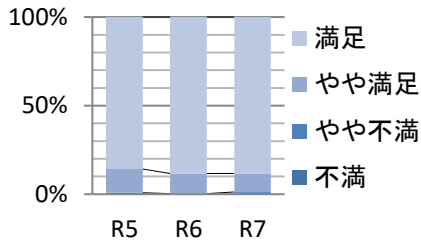
現 指 定 管 理 者	R7年度				
	アンケート	実施時期	-	回収数/配布数	- 枚
	意見箱・メール	実施時期	-	件数	- 件
	その他	実施時期	R7.4.1～R7.11.30	件数	268 件
現 指 定 管 理 者	R6年度				
	アンケート	実施時期	-	回収数/配布数	- 枚
	意見箱・メール	実施時期	-	件数	- 件
	その他	実施時期	通年	件数	340 件
現 指 定 管 理 者	R5年度				
	アンケート	実施時期	-	回収数/配布数	- 枚
	意見箱・メール	実施時期	-	件数	- 件
	その他	実施時期	通年	件数	369 件

②利用者からの主な意見・要望と対応

意見・要望	対応
校舎の耐震面での不安から閉鎖と言うことを伺いましたが、ぜひ継続利用できる方法を検討していただきたい	-
今後も何かしらの形でバーベキューエリアや工作関連のイベントスペースが欲しい	-
施設への入り口(坂道)が一方通行に見えて、入りづらかった	-
トイレも綺麗	-
虫が多く、自然に囲まれ、のびのびした環境でとても良かった	-
清潔感があり、自然が豊かで大変満足	-

③アンケート実施結果

施設・設備への満足度									
1		年度	総 回 答 数	満足	やや満足	やや不満	不満	回答割合推移	
				回答数	回答数	回答数	回答数		
				回答割合	回答割合	回答割合	回答割合		
	現指定管理者	R7	263	252 96%	11 4%	0 0%	0 0%		
現指定管理者	R6	337	322 96%	13 4%	0 0%	2 1%			
			現指定管理者	R5	366	341 93%	21 6%	3 1%	1 0%
従業員の対応への満足度									
2		年度	総 回 答 数	満足	やや満足	やや不満	不満	回答割合推移	
				回答数	回答数	回答数	回答数		
				回答割合	回答割合	回答割合	回答割合		
	現指定管理者	R7	261	247 95%	14 5%	0 0%	0 0%		
現指定管理者	R6	337	319 95%	13 4%	4 1%	1 0%			
			現指定管理者	R5	363	329 91%	24 7%	7 2%	3 1%
付帯設備への満足度									
3		年度	総 回 答 数	満足	やや満足	やや不満	不満	回答割合推移	
				回答数	回答数	回答数	回答数		
				回答割合	回答割合	回答割合	回答割合		
	現指定管理者	R7	260	249 96%	11 4%	0 0%	0 0%		
現指定管理者	R6	336	318 95%	15 4%	2 1%	1 0%			
			現指定管理者	R5	362	334 92%	24 7%	4 1%	0 0%
利用時間帯への満足度									
4		年度	総 回 答 数	満足	やや満足	やや不満	不満	回答割合推移	
				回答数	回答数	回答数	回答数		
				回答割合	回答割合	回答割合	回答割合		
	現指定管理者	R7	260	238 92%	17 7%	5 2%	0 0%		
現指定管理者	R6	332	289 87%	38 11%	4 1%	1 0%			
			現指定管理者	R5	364	320 88%	36 10%	8 2%	0 0%
安全・衛生面での満足度									
5		年度	総 回 答 数	満足	やや満足	やや不満	不満	回答割合推移	
				回答数	回答数	回答数	回答数		
				回答割合	回答割合	回答割合	回答割合		
	現指定管理者	R7	261	238 91%	23 9%	0 0%	0 0%		
現指定管理者	R6	337	316 94%	21 6%	0 0%	0 0%			
			現指定管理者	R5	366	321 88%	43 12%	2 1%	0 0%

6	料金・減免条件への満足度							
		年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満	回答割合推移
				回答数	回答数	回答数	回答数	
				回答割合	回答割合	回答割合	回答割合	
	現指定管理者	R7	259	253 98%	6 2%	0 0%	0 0%	
	現指定管理者	R6	331	324 98%	7 2%	0 0%	0 0%	
	現指定管理者	R5	363	356 98%	4 1%	3 1%	0 0%	
7	予約受付への満足度							
		年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満	回答割合推移
				回答数	回答数	回答数	回答数	
				回答割合	回答割合	回答割合	回答割合	
	現指定管理者	R7	262	244 93%	17 6%	1 0%	0 0%	
	現指定管理者	R6	334	300 90%	29 9%	5 1%	0 0%	
	現指定管理者	R5	366	324 89%	34 9%	6 2%	2 1%	
8	高齢者・障害者への配慮への満足度							
		年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満	回答割合推移
				回答数	回答数	回答数	回答数	
				回答割合	回答割合	回答割合	回答割合	
	現指定管理者	R7	239	211 88%	25 10%	3 1%	0 0%	
	現指定管理者	R6	298	263 88%	34 11%	1 0%	0 0%	
	現指定管理者	R5	323	277 86%	43 13%	3 1%	0 0%	

S:達成すべき水準を大きく上回った
A:達成すべき水準を達成した
B:達成すべき水準を下回った

5.運営状況について

①施設管理運営状況

施設管理について

	点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
			自己評価	A	所見
1	計画書の作成・提出について	選定時の提案や業務仕様書等に基づき、必要事項を漏れなく記載し、年度計画書を年度末30日以内に、市へ提出する。	自己評価	A	所見
	点検時期				
	年度末				
	点検方法		市評価	A	所見
	書類確認				
2	点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
	報告書の作成・提出について	各計画書に基づき、事業や施設点検の履行状況等、必要事項を漏れなく記載し、定期報告書は月末5日以内、事業報告書は内部監査を踏まえ、年度末30日以内に、市へ提出する。	自己評価	A	所見
	点検時期				
	毎月末か年度末				
	点検方法		市評価	A	所見
	書類確認				
3	点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
	文書の管理について	文書種別に応じて保存年限・場所を明確に分類・整理し、適切に管理を行う。	自己評価	A	所見
	点検時期				
	四半期毎				
	点検方法		市評価	A	所見
	現地確認				
4	点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
	利用許可について	茨木市里山センター条例に基づき、適切な料金区分の適用など、適正な利用許可を行う。	自己評価	A	所見
	点検時期				
	年度末				
	点検方法		市評価	A	所見
	書類確認				
5	点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
	会計事務について	利用料金等の会計事務について、透明性を確保し、適切な処理が行われている。	自己評価	A	所見
	点検時期				
	年度末				
	点検方法		市評価	A	所見
	書類確認				
6	点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)		
	人員配置について	仕様書及び管理運営事業計画書等で定めるとおりの配置となっている。	自己評価	A	所見
	点検時期				
	毎月末				
	点検方法		市評価	A	所見
	書類確認				

		点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
				自己評価	A	所見	
7		研修の実施について	年1回は業務の課題解決や、職員として必要な知識を積む事が出来る視察・研修会等を実施する。	自己評価	A	所見	
		点検時期					
		年度末		市評価	A	所見	
		点検方法					
8		書類確認	必要に応じて点検を行い、不備が見つかった場合には協定書に準じて対応を行っている。	自己評価	A	所見	
		点検項目					
		設備の維持管理について		市評価	A	所見	
		点検時期					
9		必要に応じて	1日につき1回以上、必要に応じて清掃を実施している。	自己評価	A	所見	
		点検方法		市評価	A	所見	
		現地確認					
		点検項目					
10		清掃・衛生管理について	1日につき1回以上、必要に応じて清掃を実施している。	自己評価	A	所見	
		点検時期		市評価	A	所見	
		必要に応じて					
		点検方法					
11		第三者への業務委託について	-	自己評価		所見	
		点検時期		市評価		所見	
		-					
		点検方法					
12		-	施設の開錠・施錠を確認する。	自己評価	A	所見	
		警備体制について		市評価	A	所見	
		点検時期					
		必要に応じて					
13		点検方法	管理運営に関する基本協定書を順守するとともに、危機管理規定を定め、緊急時連絡網を整備し、職員周知の取組を行っている。	自己評価	A	所見	
		書類確認		市評価	A	所見	
		緊急時対策、安全管理について①					
		点検時期					
13		必要に応じて	従事者に対し、火災予防・消防用設備器具の取り扱い・避難誘導などの訓練を実施している。	自己評価	A	所見	
		点検方法		市評価	A	所見	
		書類確認					
		点検項目					

	点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
			自己評価	A	所見	
14	備品の管理について	所有する備品の台帳を作成し、適正に管理を行っている。	自己評価	A	所見	
	点検時期		市評価	A	所見	
	四半期毎					
	点検方法					
	現地確認					
15	点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
	関係法令の順守について	茨木市里山センター管理運営業務仕様書のほか、地方自治法・茨木市里山センター条例及び施行規則・茨木市指定管理者制度導入に関する指針を順守している。	自己評価	A	所見	
	点検時期		市評価	A	所見	
	必要に応じて					
	点検方法					
	ヒアリング					
16	点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
	労働関係法令の遵守について	労働関係法令に基づく雇用契約書等を順守し、労災保険に加入している。また、再委託をしている場合には再委託先の労働関係法令の順守を確認している。	自己評価	A	所見	
	点検時期		市評価	A	所見	
	四半期毎					
	点検方法					
	現地確認					
17	点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
	前指定管理期間時からの継続雇用について	-	自己評価		所見	
	点検時期		市評価		所見	
	-					
	点検方法					
	-					
18	点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
	就職困難者の雇用について	当施設の管理運営上に必要な特技・技能を持つ人材は、障害者・高齢者や男女を問わず雇用している。	自己評価	A	所見	
	点検時期		市評価	A	所見	
	年度末					
	点検方法					
	ヒアリング					
19	点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
	個人情報の保護について①	利用者個人情報を保護するための、施錠やセキュリティに関する取組が実施されている。	自己評価	A	所見	
	点検時期		市評価	A	所見	
	年度末					
	点検方法					
	現地確認					
20	点検項目	達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
	個人情報の保護について②	個人情報の保護に関する法律の規定により、個人情報の適正な管理の為、必要な措置を講じている。	自己評価	A	所見	
	点検時期		市評価	A	所見	
	年度末					
	点検方法					
	ヒアリング					

点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
21	人権尊重について	地方自治法に規定する公の施設であると言う設置目的に基づき、利用者の視点に立った公平・公正な管理運営を行っている。また従事者には、市主催の人権研修等への参加を促すとともに職員が理解し、適切な対応が行われている。	自己評価	A	所見	
	点検時期					
	年度末					
	点検方法		市評価	A	所見	
	書類確認					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
22	環境への配慮について	管理運営に関する基本協定書を順守している。	自己評価	A	所見	
	点検時期					
	年度末					
	点検方法		市評価	A	所見	
	書類確認					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
23	ホームページの管理	月2回の定期更新を行っている。	自己評価	A	所見	
	点検時期					
	毎月末					
	点検方法		市評価	A	所見	
	その他					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
24	苦情・要望への対応	苦情・要望があった場合、適切な対応を行い、内容及び措置状況の記録をつける。	自己評価	A	所見	
	点検時期					
	毎月末					
	点検方法		市評価	A	所見	
	書類確認					
点検項目		達成すべき水準	評価・所見 ※A評価の場合は所見不要(任意)			
25	利用者ニーズの把握	事務室前に意見箱を設置し、利用者の満足度や意見を調査する。	自己評価	A	所見	
	点検時期					
	年度末					
	点検方法		市評価	A	所見	
	書類確認					

S:達成すべき水準を大きく上回った
A:達成すべき水準を達成した
B:達成すべき水準を下回った

②指定管理事業・自主事業等の評価

対象		事業計画書等で 定めた実施内容 (達成すべき水準)	実施状況・計画						実施状況の評価・所見			
			－	R5	R6	R7	R8	R9				
指定管理 業務	施設運営事業	屋外施設について、適正良好に管理する。	当初計画	自然観察林の整備 年10回	自然観察林の整備 年10回	自然観察林の整備 年10回	自然観察林の整備 年9回	施設閉鎖	自己評価	A	所見	
			実施状況	自然観察林の整備 年13回	自然観察林の整備 年10回	自然観察林の整備 年10回			市評価	A	所見	
指定管理 業務	各種講座・教室開催事業	市広報やホームページ・チラシなどにより「いつでも誰でも自由に利用出来る施設」を基本として管理運営する。	当初計画	・四季のイベント ・自然工作教室 (10回)	・四季のイベント ・自然工作教室 (10回)	・四季のイベント ・自然工作教室 (10回)	施設閉鎖	施設閉鎖	自己評価	A	所見	
			実施状況	・四季のイベント 4回 ・自然工作教室 12回	・四季のイベント 4回 ・自然工作教室 11回	・四季のイベント 4回 ・自然工作教室 11回			市評価	A	所見	
自主事業	里地里山保全事業	市民参加による里地里山保全活動を広める。	当初計画	関西大倉学園森林整備、千提寺地区里山及びビオトープ保全管理、菱ヶ谷遺跡里山整備	関西大倉学園森林整備、千提寺地区里山及びビオトープ保全管理、菱ヶ谷遺跡里山整備	関西大倉学園森林整備、千提寺地区里山及びビオトープ保全管理、菱ヶ谷遺跡里山整備	関西大倉学園森林整備、千提寺地区里山及びビオトープ保全管理、菱ヶ谷遺跡里山整備	施設閉鎖	自己評価	A	所見	
			実施状況	関西大倉学園森林整備、千提寺地区里山及びビオトープ保全管理、菱ヶ谷遺跡里山整備	関西大倉学園森林整備、千提寺地区里山及びビオトープ保全管理、菱ヶ谷遺跡里山整備	関西大倉学園森林整備、千提寺地区里山及びビオトープ保全管理、菱ヶ谷遺跡里山整備			市評価	A	所見	
自主事業	木材加工販売事業	間伐材や、それを利用した木材製品の製作や販売、木竹炭等の販売を行う。	当初計画	木材製品等売上金 1,394千円	木材製品等売上金 1,394千円	木材製品等売上金 1,140千円	木材製品等売上金 143千円	施設閉鎖	自己評価	A	所見	
			実施状況	木材製品等売上金 1,190千円	木材製品等売上金 973千円	木材製品等売上金 1,096千円			市評価	A	所見	

S:達成すべき水準を大きく上回った
A:達成すべき水準を達成した
B:達成すべき水準を下回った

②指定管理事業・自主事業等の評価

対象		事業計画書等で 定めた実施内容 (達成すべき水準)	実施状況・計画						実施状況の評価・所見			
			—	R5	R6	R7	R8	R9				
指定管理 業務	市内小中学校の環境教育活動支援事業	子どもの頃から自然にふれあい、環境に対する認識を持てる機会を提供する。	当初計画	10校 800人	10校 800人	10校 800人	施設閉鎖	施設閉鎖	自己評価	A	所見	
			実施状況	7校 707人	7校 761人	5校 425人			市評価	A	所見	
自主事業	アドプトフォレスト制度による企業との協働森づくり事業	市民ボランティア団体行政・企業・森林所有者が連携・協働して、茨木市域の里山里地の保全・再生が図れる様に努める。	当初計画	・日立システムズ ・ダイキン	・日立システムズ ・ダイキン	・I-ne ・ダイキン	・I-ne ・ダイキン	施設閉鎖	自己評価	A	所見	
			実施状況	・日立システムズ ・ダイキン ・I-ne	・日立システムズ ・ダイキン ・I-ne	・I-ne ・ダイキン			市評価	A	所見	
指定管理 業務	里山まつり実施事業	里山里地を守り育てることの大切さを広め、市民参加による森づくりを推進するとともに、里地里山保全活動団体相互や地域住民との連携を深め、活動を活性化させる。	当初計画	来場者 1700人	来場者 1700人	来場者 1700人	施設閉鎖	施設閉鎖	自己評価	A	所見	
			実施状況	来場者 1700人	来場者 1500人	来場者 1400人			市評価	A	所見	

6.全体評価

※を除き、4段階評価〔S:特に優秀 A:良好 B:軽微な課題あり C:重大な問題あり〕

評価項目		評価・所見				
個別評価	利用状況について	自己評価	B	所見	前年度より利用者が減った主な要因は夏期の猛暑によりオートキャンプ場を利用する人が少なかった。また、令和8年3月に閉館となる施設の整理のため、BBQを12月1日より閉場とした。	
		市評価	B	所見	オートキャンプ場の利用者の減少やBBQの年度途中の閉場が大きな原因と考えられる。	
	収支状況について ※A～C:3段階評価	自己評価	A	所見	指定管理事業・自主事業ともに、体力に合った財務規模とし収支の均衡がとれた健全な運営を行っている。	
		市評価	A	所見	安定した財務管理に努められ、健全な運営が出来ている。	
	利用者ニーズの把握と対応について	自己評価	A	所見	施設、利用者やイベント・講座・教室の参加者に直接聞き取りとオンラインによるアンケート調査をお願いしている。参加者からの意見、感想を直接聞いた内容と、アンケート結果を分析し、業務改善につなげるための自己評価を行い、サービス向上を図ってる。	
		市評価	A	所見	アンケート調査等により利用者ニーズの把握に努め、利用サービスの向上に努めている。	
	運営状況について	施設管理運営状況 ※A～C:3段階評価	自己評価	A	所見	地方自治法に規定する公の施設であるという設置目的に基づき、利用者サービスの向上と利用促進が図れるよう管理運営するとともに、里山まつりをはじめ「四季のイベント」や講座・教室を開催し、市民の里山里地や森林に対する理解と関心を深めている。
			市評価	A	所見	施設及び設備の清掃・点検が行き届き、利用者が利用しやすい環境を整えていることがアンケート結果から判断できることから、運営状況は良好である。
		指定管理事業・自主事業等の評価	自己評価	A	所見	いつでも誰でも自由に利用できる施設であることを基本とし、市広報によるPR、ホームページ、チラシ作成による情報提供のほか、市民ボランティアや林業従事者の技能やノウハウを活用したイベントや講座・講習会・教室の開催、間伐材等の提供、木工工作指導などを行い、当施設の効用を最大限に発揮している。
			市評価	A	所見	里山センターの設置目的に合致する森林ボランティアによる里山保全に向けた整備や講習会開催などの事業を中心に積極的に実施している。

6.全体評価

※を除き、4段階評価〔S:特に優秀 A:良好 B:軽微な課題あり C:重大な問題あり〕

評価項目	評価・所見			
総合評価 (施設設置目的の 総合的な達成度)	自己 評価	A	所見	広く市民に里山や森林に対する理解と関心を深めてもらえるよう、本会の知識と技能をフルに活用して、四季折々のイベントや様々な講座・講習会、工作教室を開催した。屋外施設は里山保全活動団体の参加協力を得て良好に維持管理することができた。BBQ場、オートキャンプ場などの利用はオンライン申請による受付として、多数の市民の皆さんに利用していただけた。多様な機能を有する里山の再生が図れるよう、企業・市民活動団体や森林組合の技能や経験を活かした市民参加型の里山保全活動を継続・発展させ、地域の環境保全に貢献した。
	市 評価	A	所見	里山センターは指定管理者によって適切に管理され、森林ボランティアの活動拠点として、都市住民が里山と触れ合う場所として、里地里山を学ぶ場所として、十分に機能していたと考えられるが、老朽化に伴い、令和7年度末で施設の一般利用が休止となった。一般利用が休止となっても、森林環境の保全やSNS、HPを活用した都市住民への里山保全活動の魅力発信に努めていただきたい。